

別記
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和 8年 3月12日

コミュニティ名	シン・道徳
代表者所属名	八幡市立男山第二中学校
代表者職・氏名	教諭・小山悠祐

京都府若手教職員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

シン・道徳

2 研究テーマ

道徳教育の在り方や役割についての研究と教員の授業力・資質能力の向上

3 研究の目的

変化の激しい時代に教科道徳の在り方や役割はとて重要になってくると考えているため、この研究テーマを設定し授業力の向上を目指す。

4 研究の成果と課題

学級経営、生徒一人ひとりの人格の形成や生徒の非認知能力の向上に深くかかわりがあると期待している。

5 研究成果の波及方法

各校の研修や有志で行う勉強会での交流等で波及させる。

6 研究（活動）実績*

年月	研究（活動）内容（具体的に記載）	活動場所
7月22日	研究方針・活動内容の協議	キャンパスプラザ京都
9月17日	公開授業参観	長岡第四中学校
12月9日	研究授業・授業研究会への参加	木津中学校
1月27日	実践振り返り・まとめ	キャンパスプラザ京都
2月19日	公開授業参加・今年度のまとめ	南宇治中学校

7 予算執行状況

- (1) 旅費は、旅費執行状況報告書に記載のとおり
- (2) 図書については、受領書のとおり

8 他校へ勧めたい実践又は他校へ呼びかけたい共同研究（できるだけ具体的に）

テーマ	
育てたい資質能力	道徳教育の在り方や役割について、教員の授業力・資質能力の向上
実践又は研究の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・他校の実践から学ぶ コミュニティ内での授業参観だけでなく、他校の公開授業などにも参加し実践力の向上を目指した。 また、同じ教材でも学校や学年が違えば、どのような変容（結果・感想）になるかの交流を行った。 ・研究成果の波及 各校での研修や勉強会で実践例をもとに交流し、波及していくことができた。